

フォレストニュース

植林が地球を救う

令和5年(2023)1月10日

No. 181

発行 高津啓洋

パラグアイの木が育ってます



トロパンパで植樹された街路樹



マリアアウシリアドーラの街路樹



2023年11月、地球の緑を守る会会員が今まで植樹された街々を訪問してきました。どの街の木も皆様のお陰で立派に育っていました。ありがとうございます

武蔵野雑木林の笹刈りと落ち葉掃除作業

武蔵野支部では、他NPO団体の活動に参加、武蔵野市の雑木林の笹刈りと落ち葉の掃除をしました。幼児連れの親子が10組参加するなかでしたが、寒さに負けず、自然の触れ合いと自然を守る大切さを学んでいきました。

また3/18には湘南支部で行われている植栽地の視察や、森の落ち葉を生かした農業体験などの視察会を計画しています。今後も他団体と連携しながら地域の自然保護に貢献していきます



雑木林の掃除の様子

生物多様性の危機

~里地への人間の働きかけの減少による影響~

昔の日本は、生活に必要なものを自然から手に入れるため「里地里山」で暮らしていました。水田・畑などの農地をつくり、ため池や水路をつなぎ、燃料となる薪を森から運び出したりして、自然とともに生きてきました。こうした暮らしが生態系の保全に大きな役割を果たしてきたのですが、世の中が便利になるにつれて徐々に失われ、荒れた田畑や森林が増えてしまったのです



手入れ不足の雑木林

【お知らせ】 今年のパラグアイの植樹ボランティアは募集人員に達したため応募を終了しました。